



アスンシオン通信

シーズン2

日付: 2025 年 5月13日 no.27

発行者: 田邊紘起

Hola ! Como están?

今年のゴールデンウィークはどうでしたか？ ゆっくり過ごした人も忙しく過ごした人もいたと思いますが、連休が終わってよいよスポーツフェスティバルに向けたエンジン全開の取組が始まりますね。スポフェスが終わった時、「やりきった。成長できた。」と満足できるよう、みんなの力を合わせ全力で頑張ってください。今回の通信は、アスンシオンに来て初めて食べた果物や出会った生き物について紹介します。

なぞのフルーツを食べてみた！

先日、知人からある果物をもらいました。見た目は「まっぼっくり」のような、アニメに出てくる「悪魔の実」のような果物です。

この果物の名前は「チェリモジャ」といい、別名“森のアイスクリーム”とも呼ばれているそうです。南米が原産で、暖かい地域でよく育ちます。そして、パイナップル、マンゴーとともに世界三大美果（せかいさんだいびか）とか、世界三大フルーツの1つとか呼ばれているそうです。日本でも売っているお店はあるそうですが、三次のスーパーに並んでいるのを見たことはありません。今まで日本のお店にどんな果物が並んでいるか気にしたことはなかったけれど、どこで売られていたのかな？

実を半分に切ってみると、中には白い果肉と黒い種が詰まっていて、果肉が黒い種を包むように入っています。そのため、黒い種ごと果肉を口に入れ、種のまわりの果肉だけ食べて、種を吐き出します。さくらんぼや梅のようなイメージですが、1つの実の中に大豆ほどの大きさの種がたくさん入っているので、食べる部分はあまりありません。とてもスッキリした味で甘く、ヨーグルトのようにほのかな酸味があります。

実物は下の写真のような見た目なので、初めは食べたいと思わなかったのですが、思い切ってチャレンジしてみたら、今まで経験したことが

ない新しい味に出会えました。こちらに暮らしていると、まだまだ知らない初めての新しい出会いがありそうで、楽しみです。



スーパーに並ぶチェリモジャ。となりは日本でもおなじみの「カキ」=deli market

南米にもいました！

パラグアイは夏が終わって涼しくなってきましたが、まだまだ暑い日も多いので、生き物たちが元気に動き回っています。

ある日、子ども達がタッパーを持って帰ってきました。中には大きなバッタが入っています。飼って観察するそうです。写真をヒントに調べてみると「シュレーゲルバッタ」というトノサマバッタの仲間でした。日本にはいない種類のように、パラグアイやアルゼンチンなどを中心とした南米だけにいるバッタらしいです。世界のいろいろな場所に日本にいる種類とは違う仲間が暮らしているというのはとても興味深いことですね。時には増えすぎて農作物などをたくさん食べてしまうこともあり、人にとっては迷惑になることもあるみたいです。また日本とは違う変わった生き物を見かけたら調べてみようと思います。



子ども達がタッパーに入れて持ち帰ったシュレーゲルバッタ=自宅

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Buenas tardes (ブエナス タルデス) :こんにちは!

人に会った時にはどんな時間でも「hola (オラ):やあ!」といって挨拶することが多いですが、日中の明るい時間は「こんにちは」という意味で Buenas tardesとあいさつすることもあります。あいさつをするとニコッと笑って返事をしてくれるパラグアイの人のあたたかいみを感じます。

タイトル写真について

日本人学校の職員室前に植えてあるブーゲンビリアの木です。南米原産の木で、パラグアイのように温かい国では一年中何度も鮮やかな花が咲きます。

次回について

次回は去年も行った日本を感じられるイベントに今年も行ってみましたので、その様子をお伝えします。

Chao chao!nos vemos!